

すわみつえ通信

No.143 2020年10月5日(月)

日本共産党鴻巣市議会議員

諒訪 三津枝



連絡先 鴻巣市赤見台3-2-7
TEL: 596-9440 FAX: 507-4151
携帯: 080-5039-2785
E-mail: mi-suwa@ezweb.ne.jp
mitsue-suwa@jcom.zaq.ne.jp

WEBで

すわみつえ



ホームページで、すわみつえの政策とお約束をご紹介します。

福祉・教育最優先の街づくり 市民の声を生かし いのちとくらしを守る市政に

新型コロナウイルス
感染予防対策
「発熱外来」に対応できる
医療機関を事前に確認

市民全員が対象となるインフルエンザ予防接種費用の助成

鴻巣市は、新型コロナウイルス感染症対策として、例年実施している65歳以上の方のインフルエンザ予防接種と

市外の医療機関で
接種する場合

接種費用を全額支払い、接種後、鴻巣市健康づくり課(鴻巣保健センター)に申請をしてください。

● 1回あたり2000円を上限として助成
● 生後6か月から小学校6年生 2回
● 中学生年生から64歳 1回

助成金額と助成回数

中学3年生の助成に加え、今年度、生後6か月から64歳までの方に、インフルエンザ予防接種費用の一部を助成することを決めました。

接種期間

2020年10月1日(木)～2021年1月30日(土)

※なお、10月25日までは、65歳以上の方を優先して接種であります。ご協力をお願いいたします。

朝晩の気温が下がり過(過)やすくなりました。夏の疲れで体調に変化がでていませんでしょうか。
この間、発熱のため、かかりつけ医に電話をすると、「発熱外来は受け付けていないので他の医院に連絡を」と受診をすることがあります。また、「口風邪やインフルエンザ等の発熱で受診をする」と予想されます。
適切な医療が受けられずに、重症化するようなどがあります。
市の保健センターでは、どの医療機関が「発熱外来」を行っていると明確には案内していません。口頭より確認をしておくことも必要です。

埼玉県が行っている都市医師会運営のPCR検査センターは、かかりつけ医の紹介がないと受けられませんので、情報の共有をしていきましょう。

市内の実施医療機関で
接種する場合

助成金額(1回あたり2000円)を差し引いた金額で接種が受けられます。

祖国イスラエルで3年間空軍兵役をつとめ、現在は秩父市で木工作家として、創作活動を行いながら、反戦平和活動、脱原発活動を行っている、ダーニ・ネフセタイ氏の講演と、アンサンブルグループ「ポブリ」の「コンサートが10月3日(土)、鴻巣憲法九条の会15周年記念として、クリスマスのすで開催され、参加しました。

ダーニ氏の戦争をさせないための講演と、ポブリの生演奏で勇気と元気が湧きおこりました。良い企画でした。



鴻巣・憲法九条の会主催
15周年記念講演会に参加

俳句コーナー

民子

香港は 自由を希み 秋桜

あきさくら

毎週朝 駅頭においてホットなニュース「すわみつえ通信」をお届けします。

(月)吹上駅南口 (火)北鴻巣駅東口 (水)北鴻巣駅西口 (木)吹上駅北口 (金)鴻巣駅西口

もう少し辛抱すればマッチ箱一つで大都市がふきとぶ新型兵器ができる一。戦況の悪化につれ、こんなうわさが日本国民の間に広まったといいます▼あらゆる便宜を与えて研究に専念させ、成果をあげよ。軍から威圧やどう喝をうけながら、悪魔の兵器に手を染める葛藤…。日本における原爆の開発に携わった科学者たちの姿はドラマ「太陽の子」にも描かれました▼芸術や文化、学問。すべてのことが「お国のために」に收れんされていった暗黒の時代。その強い反省から戦後は始まりました。1949年に発足した日本学術会議も、権力から独立した自主・民主の組織として再出発しました▼「われわれは、文化国家の建設者として、世界平和の使として、再び戦争の惨禍が到来せざるよう切望するとともに、科学者としての節操を守るためにも、戦争を目的とする科学の研究には、今後絶対に従わない」。存立の決意は安倍政権が推進した「軍学共同」を拒む礎になりました▼学者の国会といわれる、この組織の人事に権力が露骨に介入しました。学術会議が推薦した会員候補6人の任命を菅首相が異例の拒否。いずれの教授も安保法制や共謀罪をはじめ、戦争できる国づくりに反対していました▼憲法に定められた学問の自由は社会の健全な発展に欠かせません。理由もなく拒否された教授はこう危ぐします。「聞きたい意見しか聞かない、こうなってしまえば、今後の日本にとって大きな禍根を残す」。それは痛苦の歴史が証明しています。 **きょうの潮流** しんぶん赤旗 10月3日付

杉田議員暴言「すぐ辞職せよ」

ひとりになるのが怖い、眠るのが怖い、外に出るのが怖い、人混みが怖い、男性が近くにいると怖い。いつまでも残る恐怖や不安。仕事や生活も奪われ、夢や希望さえ見失った一▼望まない性行為をうけた被害者の多くは誰にもいえず、深い苦悩を抱えこみます。打ち明けても周りの反応でさらに傷つくことも。相談された側は、まずは被害者の気持ちによりそい、言うことを信じる。それが大事だと（『サバイバーズ・ハンドブック』）▼「女性はいくらでもウソをつけますから」。こう言い放った自民党の杉田水脈（みお）衆院議員への怒りがひろがっています。勇気をもって性暴力を訴えようという被害者の思いをふみにじり、女性全体の尊厳をおとしめるものです▼はじめは発言を否定しながら、一転して日記のようなブログで認める不誠実さ。発言の重大さを省みないどころか、「一部訂正」で済ませようとするこそくさ。ウソをつくのは自分だったと身をもって▼これまで性差別や人をさげすむ発言をくり返してきました。そんな人物を国会に送り、いつまでもかばい、なれ合ってきた自民党の罪は重い。こうした言動を受け入れる体質が横たわっているからでしょう▼「自民党内の男社会の空気感がわかるというか…」。テレビで女性キャスターが言及していました。発言の撤回と謝罪、辞職を求める署名には13万人が賛同し、各地で抗議の声があがっています。それは就任以来、国から逃げ回っている菅首相の責任にも向けられています。 **きょうの潮流** しんぶん赤旗 10月4日付

